

1 申請者の情報		申請年月日	令和6年6月18日
フリガナ	イリヨウホウジンホシノサトカイ オカビョウイン		
医療機関の名称	医療法人星の里会 岡病院	住所・所在地	〒750-1142 山口県下関市小月本町2丁目15-20

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数			46	46		92	46
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1						0	0

※1 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は「1②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※2 対象3区分＝高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数			46	46		92	46
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3						0	0

※3 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「2②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数			46	0		46	0

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数 ※4					0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数	0	44	44

<年間在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人) ※5			16,064	16,064
	②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人) ※6・7				0

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数＝年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)＝6

※6 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「6②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※7 令和元年度病床機能報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は令和元年度病床機能報告の数値を計上すること。変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること。

### 3 病棟別内訳(予定含む)

#### 【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		①2F療養病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	46床	46床
		②3F療養病棟	療養病棟入院基本料2	慢性期	14床	14床
		③3F療養病棟	介護療養型医療施設	慢性期	32床	32床
計					92床	92床

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。



#### 【令和5年度】

R5 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		①2F療養病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	46床	
		②3F療養病棟	療養病棟入院基本料2	慢性期	0床	R6年 3月
		③3F療養病棟	介護療養型医療施設	慢性期	0床	R6年 3月
計					46床	



#### 【令和6年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

		病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
R6 年度	病棟別内訳	以降変更なし				
計					床	
R7 年度	病棟別内訳					
計					床	

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。

※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

## 病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 医療法人星の里会 岡病院

1 地域の状況		
地域の現状と課題	下関医療圏について、地域医療構想の必要病床数と令和5年度病床機能報告を比較すると、慢性期機能が149床過剰となっている状況である。退院患者を地域で円滑に受け入れることができるよう、在宅医療提供体制の充実強化、介護施設等の受け皿の確保が課題となっている。	
2 自施設の状況		
自施設の現状 (変更前)	当院は、開設以来、皆様のご自宅や住み慣れた地域で末永く生活して頂けるよう、外来・訪問診療に加え、地域包括ケア病棟など全92床の入院施設により、温かみのある人にやさしい医療の提供を目指している。また、法人内に介護医療院等の様々な施設を有しており、医療・福祉の両面から地域に貢献している。こうした中、介護施設の充実に伴い、病院よりも介護施設への入所を選択する方が増えている状況にある。	
病床数の見直し	見直しの考え方	地域全体の医療・介護のニーズの変化に対応するため、慢性期病床46床のうち、44床を介護医療院に転換し、2床を削減する。
	対象の病棟・病床の概要	医療療養病床14床(療養病棟入院基本料2)、介護療養病床32床
	入院患者への対応	ニーズに合わせた転換及び減床であるため影響は少ないが、症状等にあわせて患者及び家族に丁寧に説明を行っている。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	地域の入院医療機関との役割分担を踏まえ、高齢化に伴い増加が見込まれる需要の受け皿となる在宅医療や介護施設の充実を図ることは、地域医療構想の実現に資するものであると考える。	

### 【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R5		R6		R7		計
		変更時期		変更時期		変更時期	
高度急性期							
急性期							
慢性期	△ 46	R6.3月					△ 46
合計	△ 46						△ 46

※慢性期△46床のうち、△44床は介護医療院への転換のため、補助金の支給対象外

### 【参考】R5病床機能報告(下関保健医療圏の状況)

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	介護保険施設 移行予定	合計
報告	①R5(2023)現状	260	1,294	1,081	1,444	230		4,309
	②R7(2025)予定	260	1,282	1,107	1,428	79		4,156
構想	③R7(2025)必要数	264	856	1,067	1,295			3,482
④構想との差(R5)(①-③)		△ 4	438	14	149			597
⑤構想との差(R7)(②-③)		△ 4	426	40	133			595